

【地域福祉についてのアンケート】

調査期間 R5.8.2 ～ R5.8.15
回答率 85.5% 回答者数 289人

アンケートの趣旨

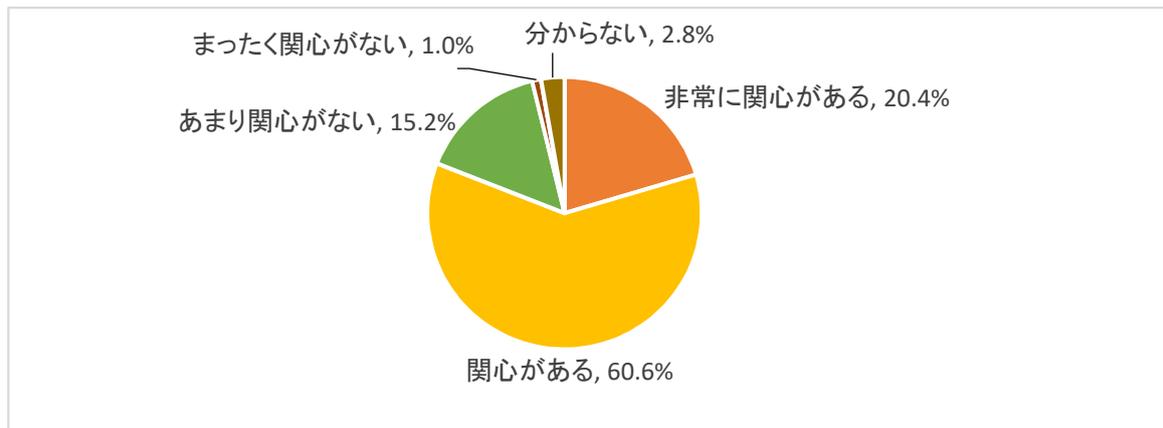
少子高齢化の進展や核家族化、住民意識の変化など、地域における福祉を取り巻く環境が大きく変化する中、地域住民がお互いに支え合い、誰もが生きがいを持って、安心・安全に生活を送ることのできる地域共生社会の実現が望まれています。

本県では、平成30年に、「主体的に参画し、ともに支え合い誰もがその人らしく安心して暮らせる地域社会の実現」を基本目標にした香川県地域福祉支援計画を策定し、ともに支え合う地域づくりや福祉を担う人づくりなどの地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

現計画の期間が満了することに伴い、来年度からの新たな計画の策定に向けて作業を進めることとしており、県政モニターの皆さまのご意見を今後の計画づくりに反映させていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

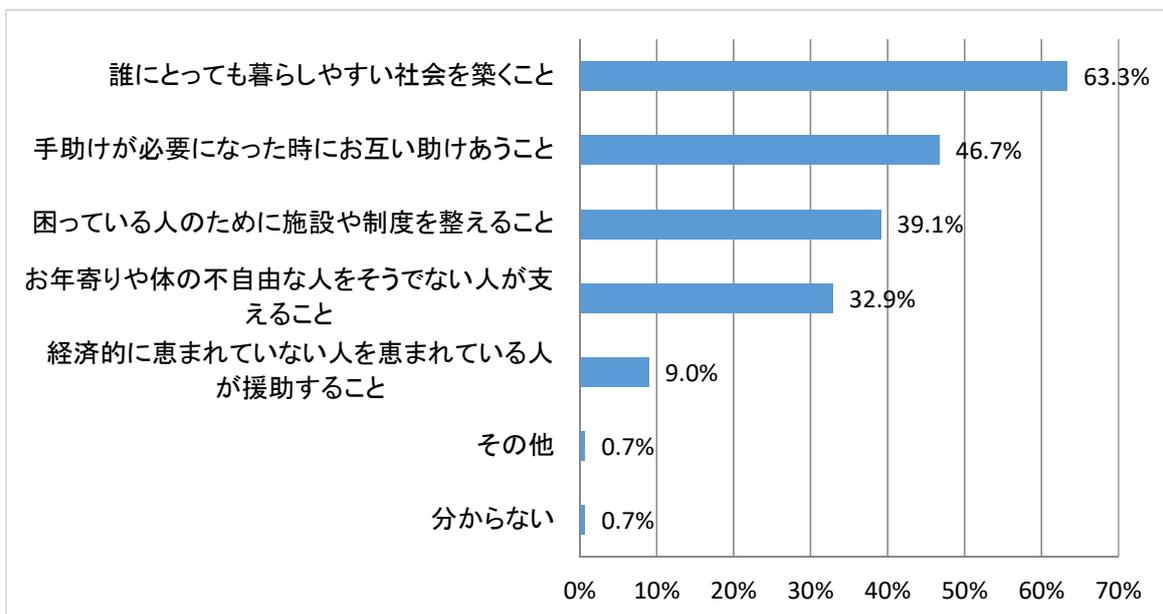
〔問1〕 あなたは、社会福祉に関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
非常に関心がある	59	20.4%
関心がある	175	60.6%
あまり関心がない	44	15.2%
まったく関心がない	3	1.0%
分からない	8	2.8%
計	289	100.0%



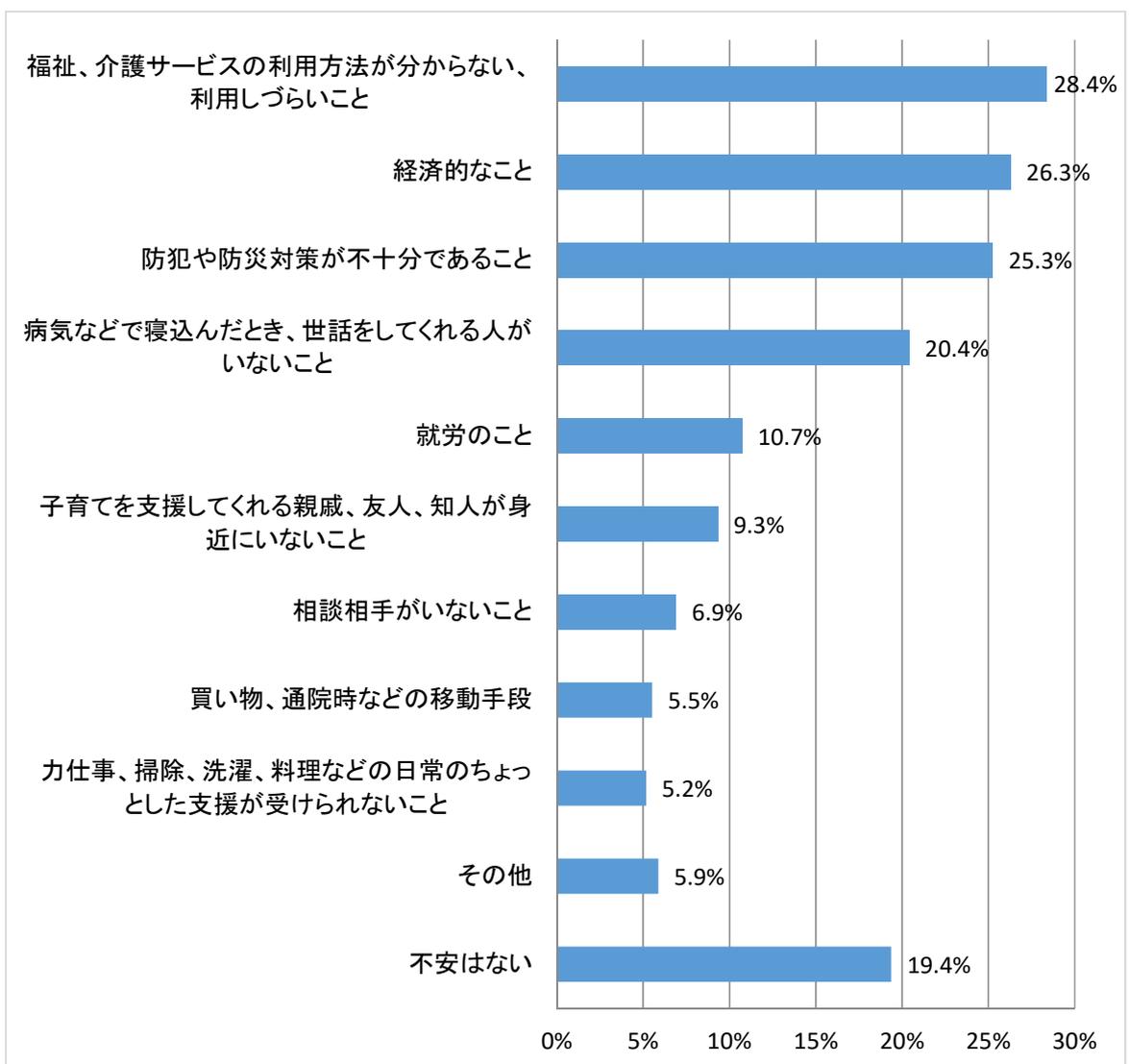
〔問2〕 あなたは、社会福祉という言葉からどのようなイメージを受けますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
誰にとっても暮らしやすい社会を築くこと	183	63.3%
手助けが必要になった時にお互い助けあうこと	135	46.7%
困っている人のために施設や制度を整えること	113	39.1%
お年寄りや体の不自由な人をそうでない人が支えること	95	32.9%
経済的に恵まれていない人を恵まれている人が援助すること	26	9.0%
その他	2	0.7%
分からない	2	0.7%



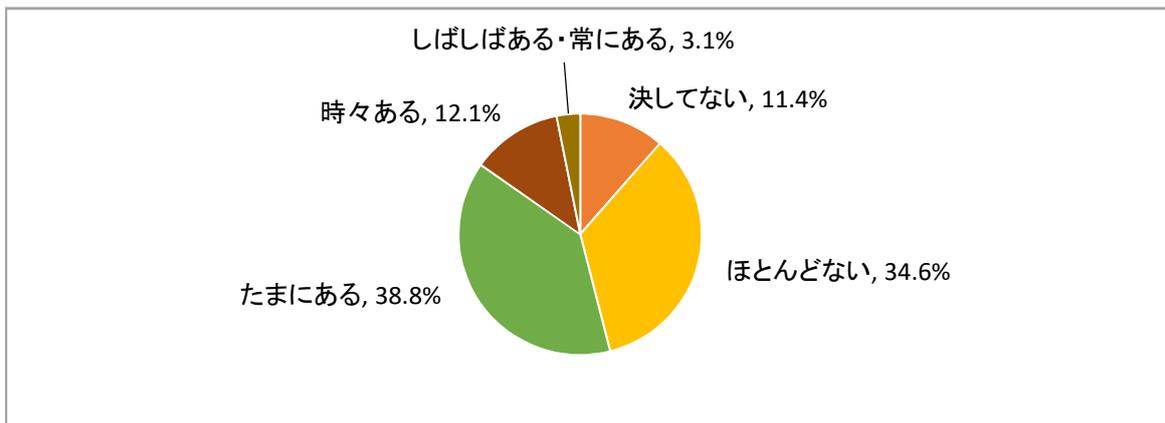
〔問3〕 あなた自身が日常生活で困っていること、不安なことは何ですか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 289	
	回答者数	構成比
福祉、介護サービスの利用方法が分からない、利用しづらいこと	82	28.4%
経済的なこと	76	26.3%
防犯や防災対策が不十分であること	73	25.3%
病気などで寝込んだとき、世話をしてくれる人がいないこと	59	20.4%
就労のこと	31	10.7%
子育てを支援してくれる親戚、友人、知人が身近にいないこと	27	9.3%
相談相手がいないこと	20	6.9%
買い物、通院時などの移動手段	16	5.5%
力仕事、掃除、洗濯、料理などの日常のちょっとした支援が受けられないこと	15	5.2%
その他	17	5.9%
不安はない	56	19.4%



〔問4〕 あなたは、孤独であると感じることがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

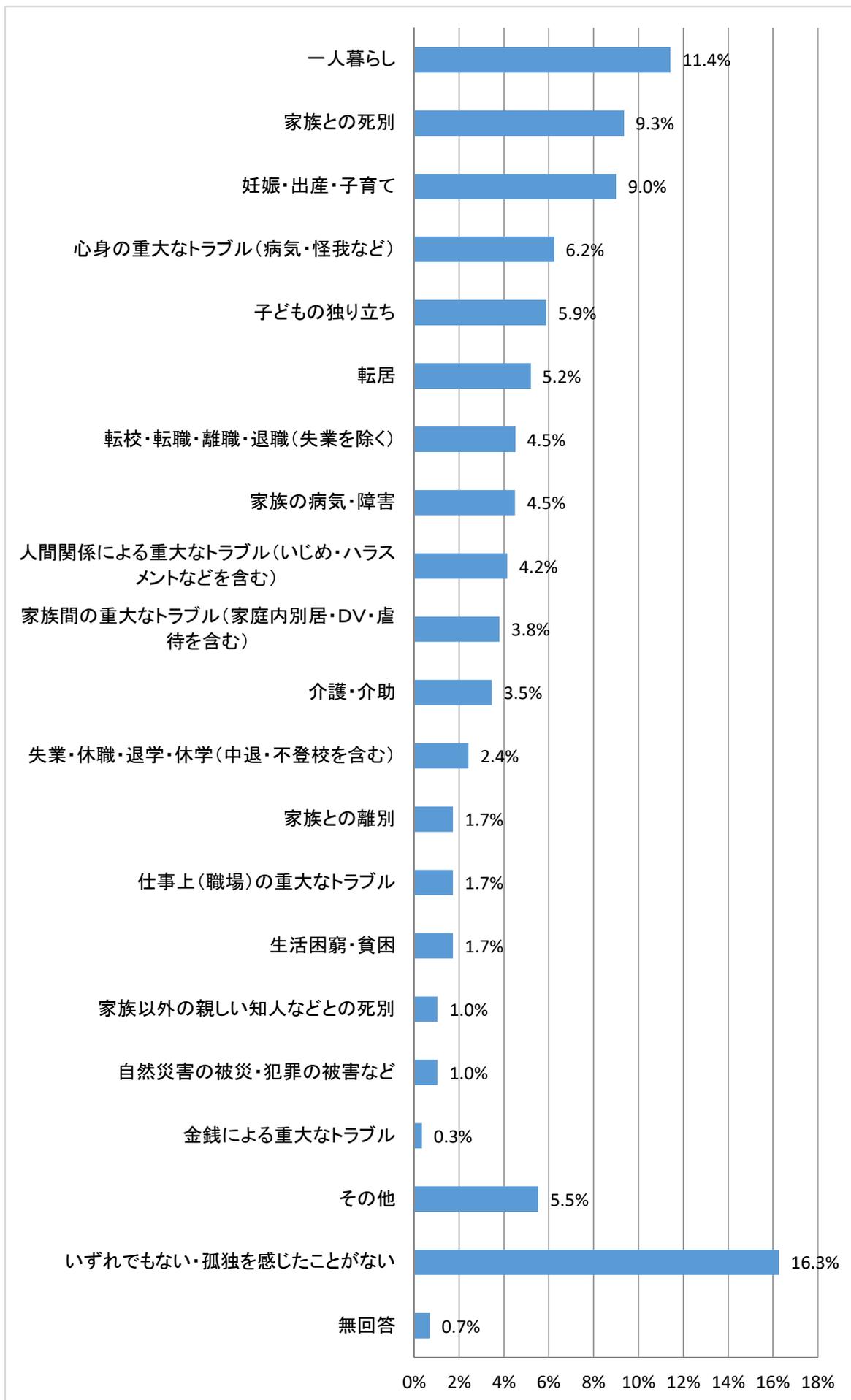
選択肢	回答者数	構成比
決してない	33	11.4%
ほとんどない	100	34.6%
たまにある	112	38.8%
時々ある	35	12.1%
しばしばある・常にある	9	3.1%
計	289	100.0%



〔問5〕 あなたの孤独感（問4で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。次の中から影響の強い順番に3つまで選んでください。

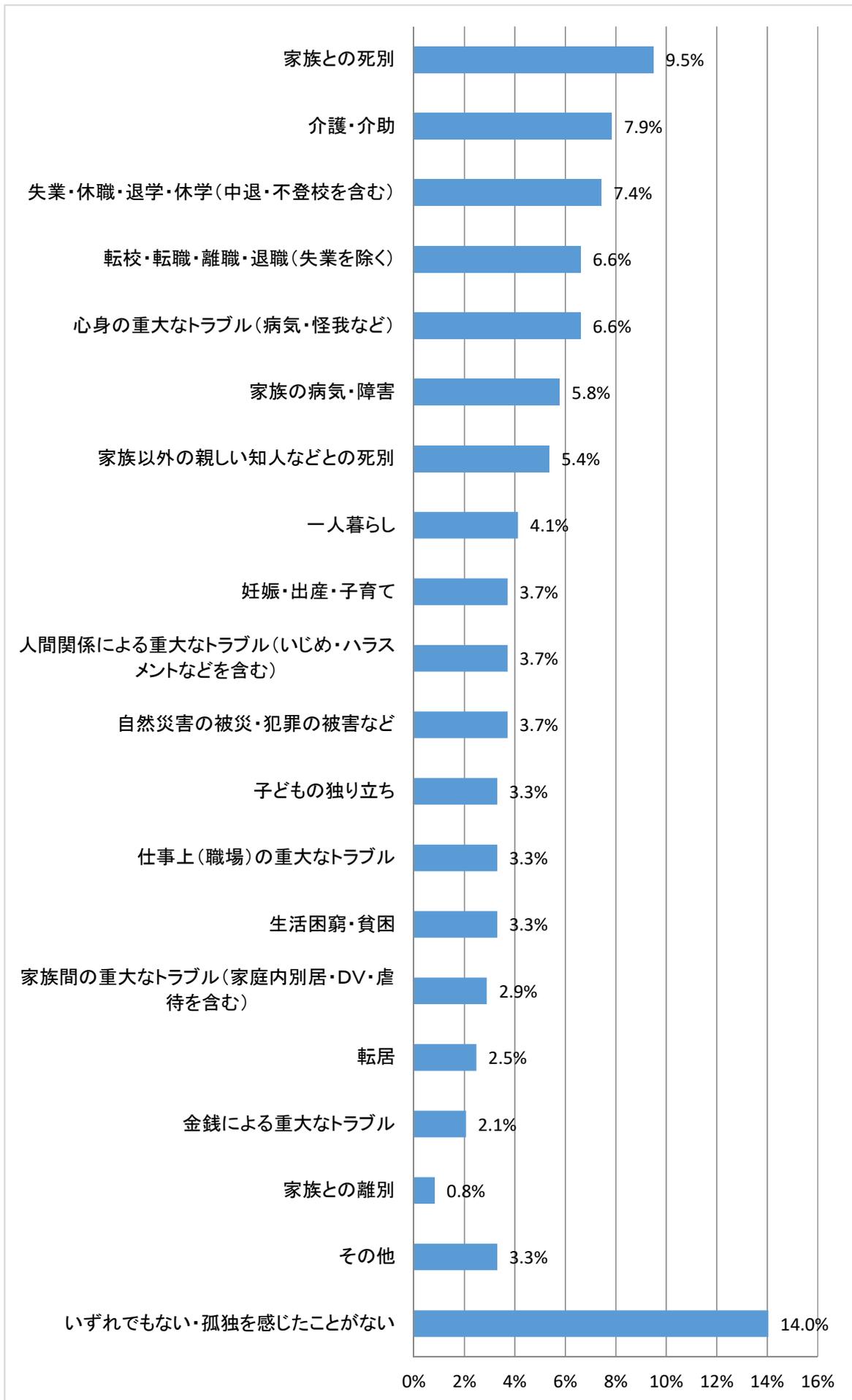
1番目に強い影響

選択肢	回答者数	構成比
一人暮らし	33	11.4%
家族との死別	27	9.3%
妊娠・出産・子育て	26	9.0%
心身の重大なトラブル(病気・怪我など)	18	6.2%
子どもの独り立ち	17	5.9%
転居	15	5.2%
転校・転職・離職・退職(失業を除く)	13	4.5%
家族の病気・障害	13	4.5%
人間関係による重大なトラブル(いじめ・ハラスメントなどを含む)	12	4.2%
家族間の重大なトラブル(家庭内別居・DV・虐待を含む)	11	3.8%
介護・介助	10	3.5%
失業・休職・退学・休学(中退・不登校を含む)	7	2.4%
家族との離別	5	1.7%
仕事上(職場)の重大なトラブル	5	1.7%
生活困窮・貧困	5	1.7%
家族以外の親しい知人などとの死別	3	1.0%
自然災害の被災・犯罪の被害など	3	1.0%
金銭による重大なトラブル	1	0.3%
その他	16	5.5%
いずれでもない・孤独を感じたことがない	47	16.3%
無回答	2	0.7%
計	289	100.0%



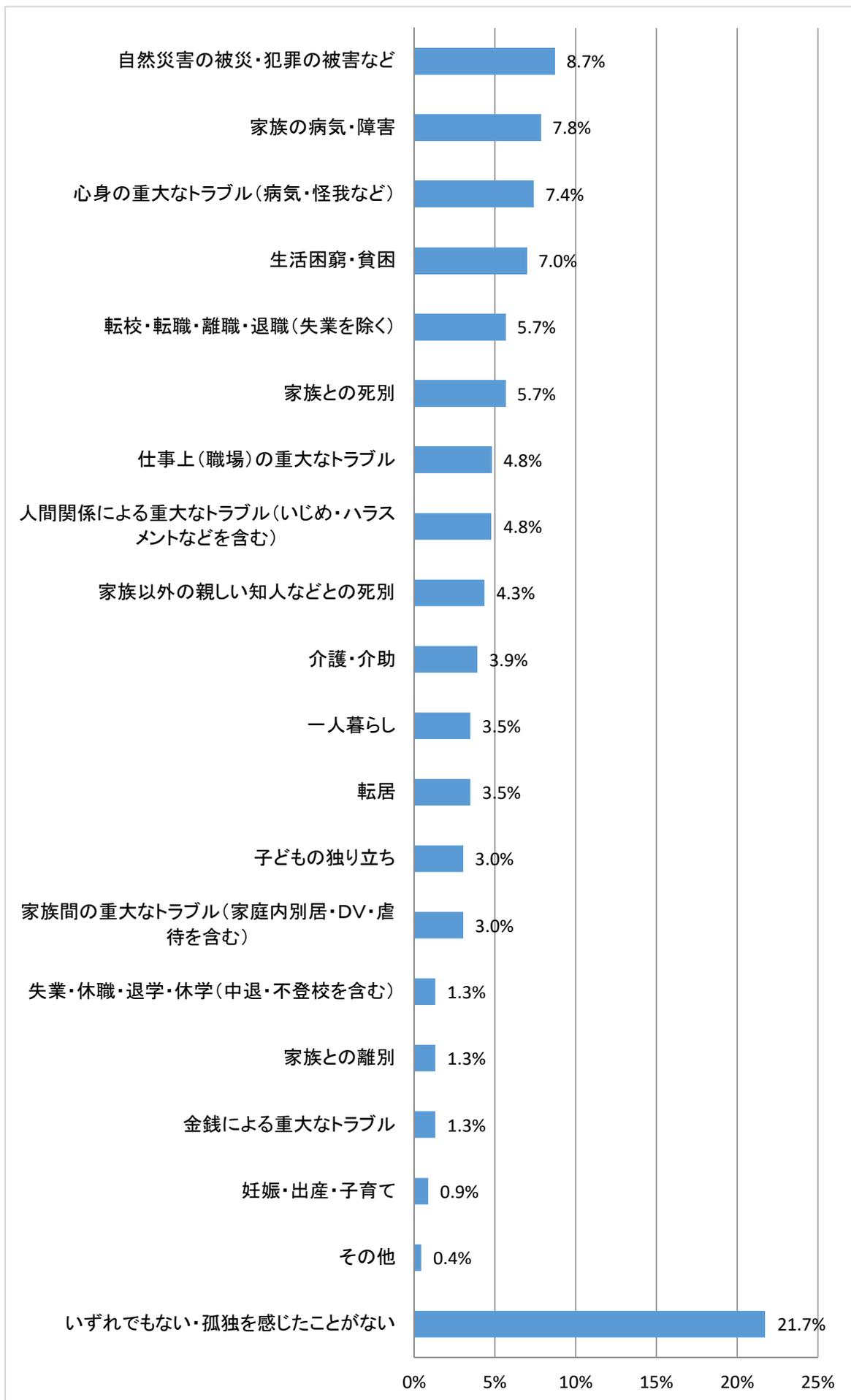
2番目に強い影響

選択肢	回答者数	構成比
家族との死別	23	9.5%
介護・介助	19	7.9%
失業・休職・退学・休学(中退・不登校を含む)	18	7.4%
転校・転職・離職・退職(失業を除く)	16	6.6%
心身の重大なトラブル(病気・怪我など)	16	6.6%
家族の病気・障害	14	5.8%
家族以外の親しい知人などとの死別	13	5.4%
一人暮らし	10	4.1%
妊娠・出産・子育て	9	3.7%
人間関係による重大なトラブル(いじめ・ハラスメントなどを含む)	9	3.7%
自然災害の被災・犯罪の被害など	9	3.7%
子どもの独り立ち	8	3.3%
仕事上(職場)の重大なトラブル	8	3.3%
生活困窮・貧困	8	3.3%
家族間の重大なトラブル(家庭内別居・DV・虐待を含む)	7	2.9%
転居	6	2.5%
金銭による重大なトラブル	5	2.1%
家族との離別	2	0.8%
その他	8	3.3%
いずれでもない・孤独を感じたことがない	34	14.0%
計	242	100.0%

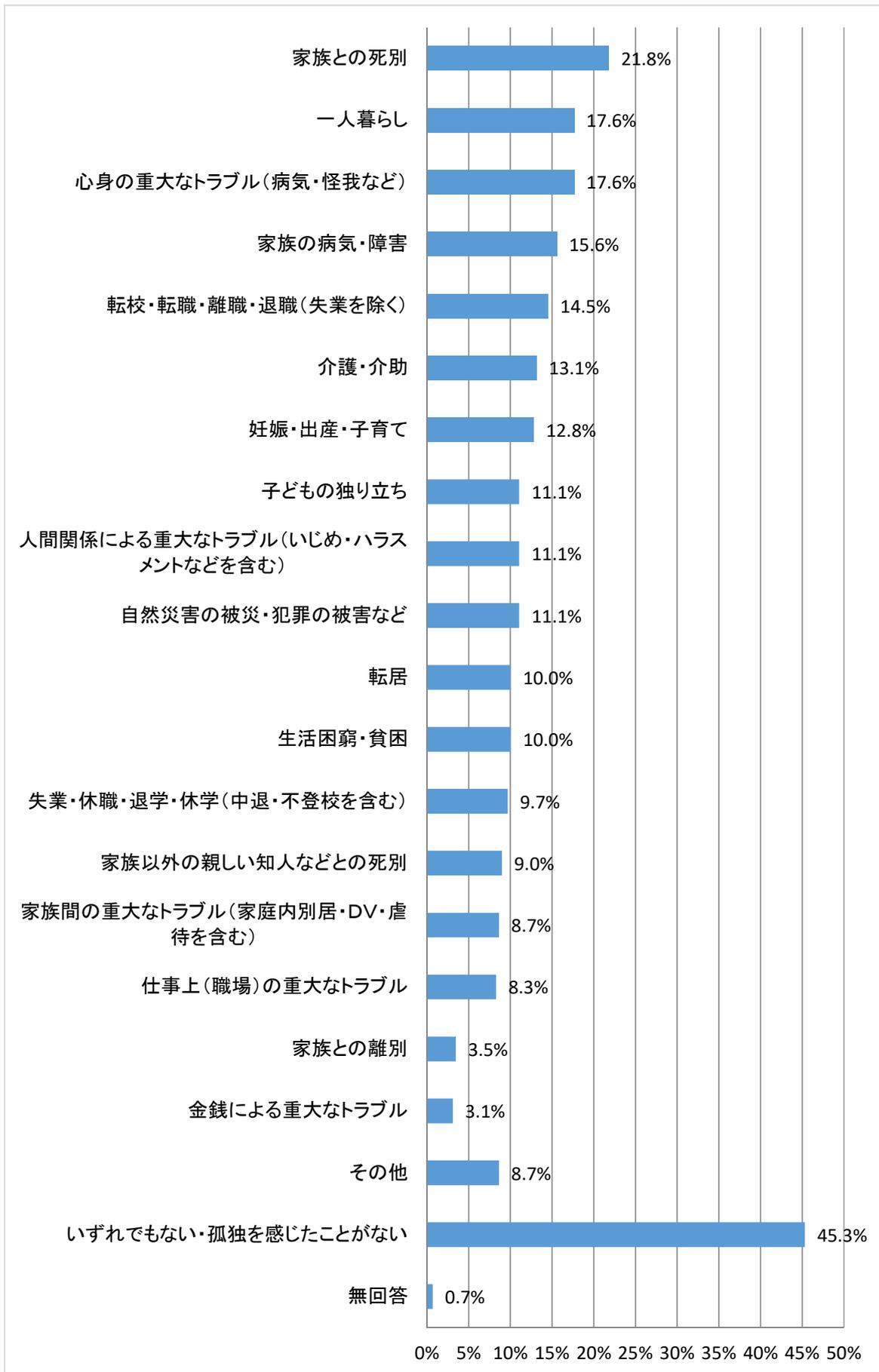


3番目に強い影響

選択肢	回答者数	構成比
自然災害の被災・犯罪の被害など	20	8.7%
家族の病気・障害	18	7.8%
心身の重大なトラブル(病気・怪我など)	17	7.4%
生活困窮・貧困	16	7.0%
転校・転職・離職・退職(失業を除く)	13	5.7%
家族との死別	13	5.7%
仕事上(職場)の重大なトラブル	11	4.8%
人間関係による重大なトラブル(いじめ・ハラスメントなどを含む)	11	4.8%
家族以外の親しい知人などとの死別	10	4.3%
介護・介助	9	3.9%
一人暮らし	8	3.5%
転居	8	3.5%
子どもの独り立ち	7	3.0%
家族間の重大なトラブル(家庭内別居・DV・虐待を含む)	7	3.0%
失業・休職・退学・休学(中退・不登校を含む)	3	1.3%
家族との離別	3	1.3%
金銭による重大なトラブル	3	1.3%
妊娠・出産・子育て	2	0.9%
その他	1	0.4%
いずれでもない・孤独を感じたことがない	50	21.7%
計	230	100.0%



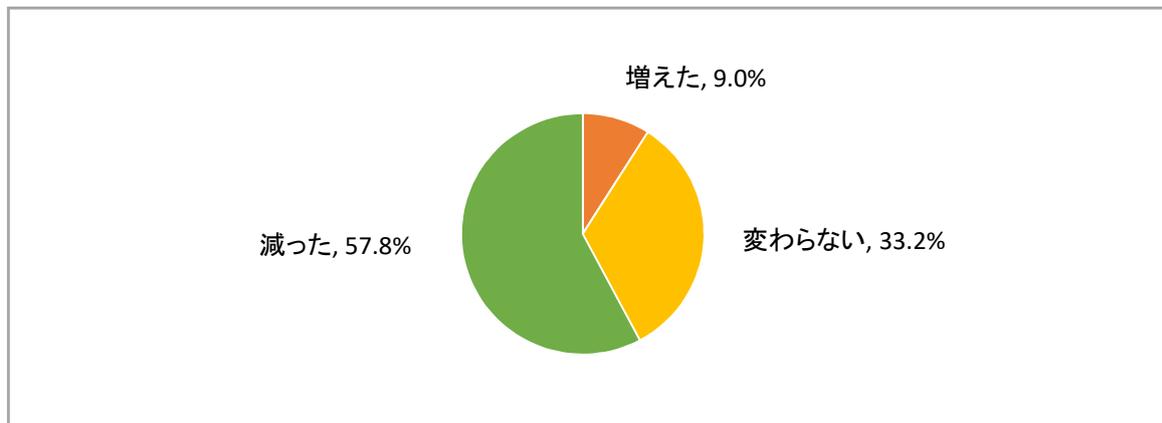
合計	回答者数	289
選択肢	回答者数	構成比
家族との死別	63	21.8%
一人暮らし	51	17.6%
心身の重大なトラブル(病気・怪我など)	51	17.6%
家族の病気・障害	45	15.6%
転校・転職・離職・退職(失業を除く)	42	14.5%
介護・介助	38	13.1%
妊娠・出産・子育て	37	12.8%
子どもの独り立ち	32	11.1%
人間関係による重大なトラブル(いじめ・ハラスメントなどを含む)	32	11.1%
自然災害の被災・犯罪の被害など	32	11.1%
転居	29	10.0%
生活困窮・貧困	29	10.0%
失業・休職・退学・休学(中退・不登校を含む)	28	9.7%
家族以外の親しい知人などとの死別	26	9.0%
家族間の重大なトラブル(家庭内別居・DV・虐待を含む)	25	8.7%
仕事上(職場)の重大なトラブル	24	8.3%
家族との離別	10	3.5%
金銭による重大なトラブル	9	3.1%
その他	25	8.7%
いずれでもない・孤独を感じたことがない	131	45.3%
無回答	2	0.7%



〔問6〕 新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年3月以前と比べて、人とのコミュニケーションに変化がありましたか。それぞれ次の中から1つずつ選んでください。

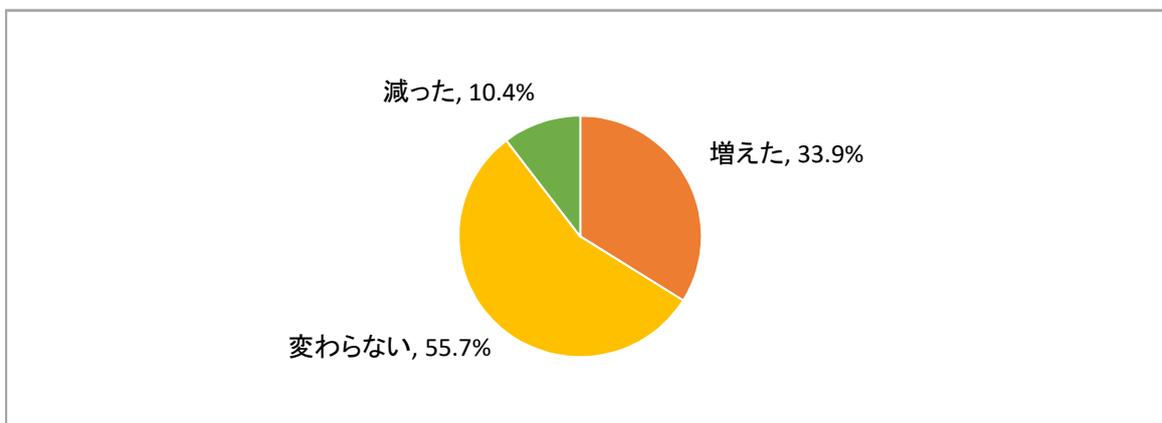
(1)人と直接会ってコミュニケーションをとること

選択肢	回答者数	構成比
増えた	26	9.0%
変わらない	96	33.2%
減った	167	57.8%
計	289	100.0%



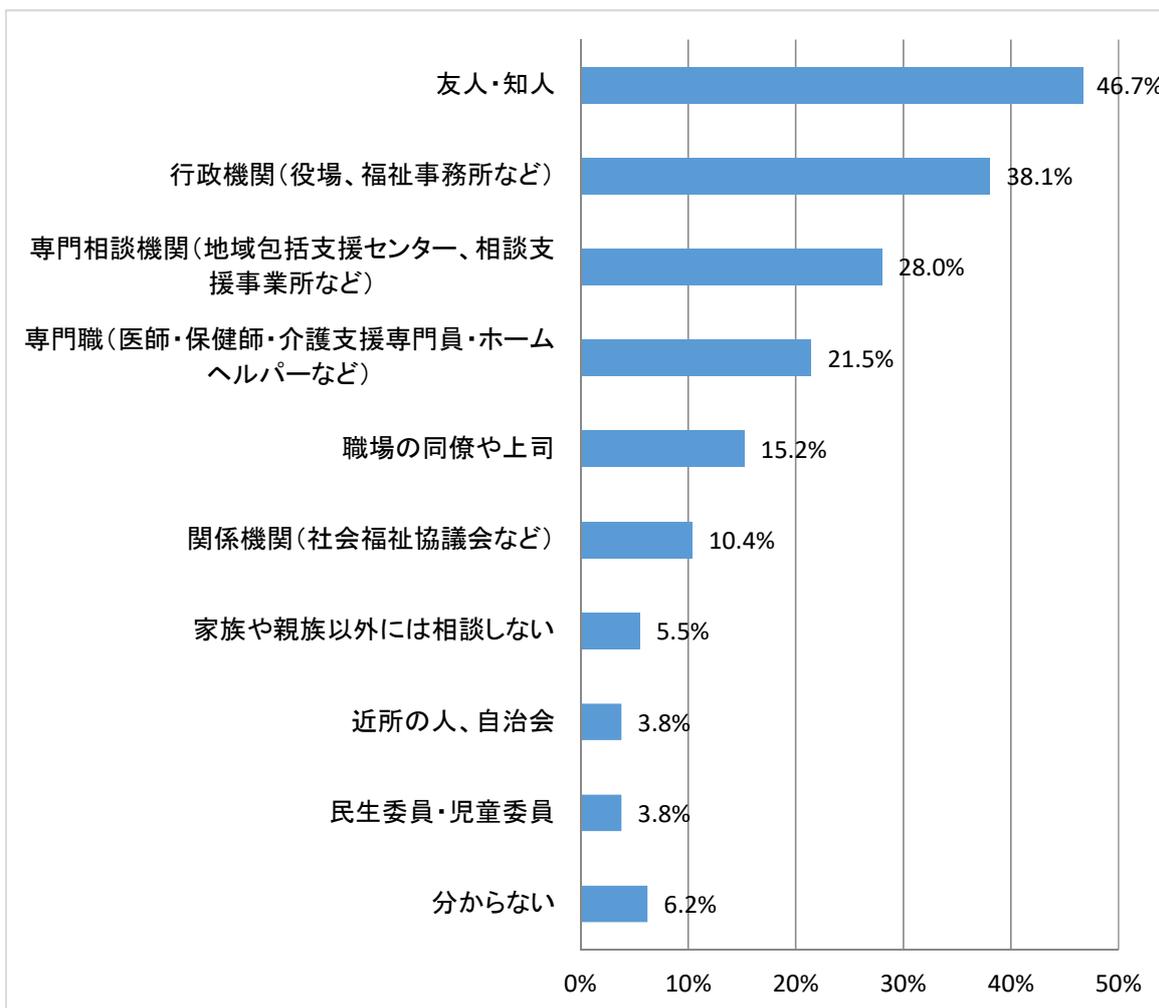
**(2)人と直接会わずにコミュニケーションをとること
(例:手紙・電話・メール・SNS・インターネットなど)**

選択肢	回答者数	構成比
増えた	98	33.9%
変わらない	161	55.7%
減った	30	10.4%
計	289	100.0%



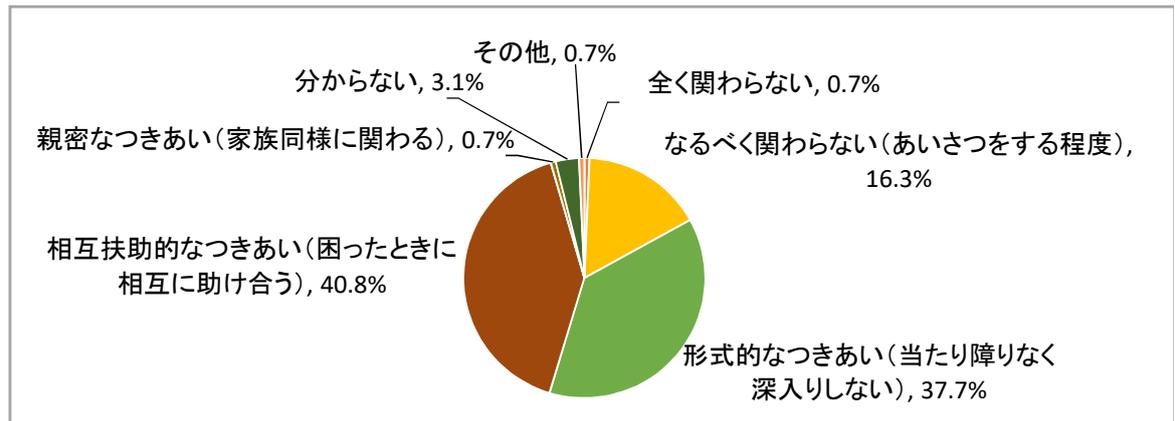
〔問7〕 あなたは、福祉に関係する心配ごとや困りごとがあった場合に、家族や親族以外に主にどのような相手に相談しようと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 289	
	回答者数	構成比
友人・知人	135	46.7%
行政機関(役場、福祉事務所など)	110	38.1%
専門相談機関(地域包括支援センター、相談支援事業所など)	81	28.0%
専門職(医師・保健師・介護支援専門員・ホームヘルパーなど)	62	21.5%
職場の同僚や上司	44	15.2%
関係機関(社会福祉協議会など)	30	10.4%
家族や親族以外には相談しない	16	5.5%
近所の人、自治会	11	3.8%
民生委員・児童委員	11	3.8%
分からない	18	6.2%



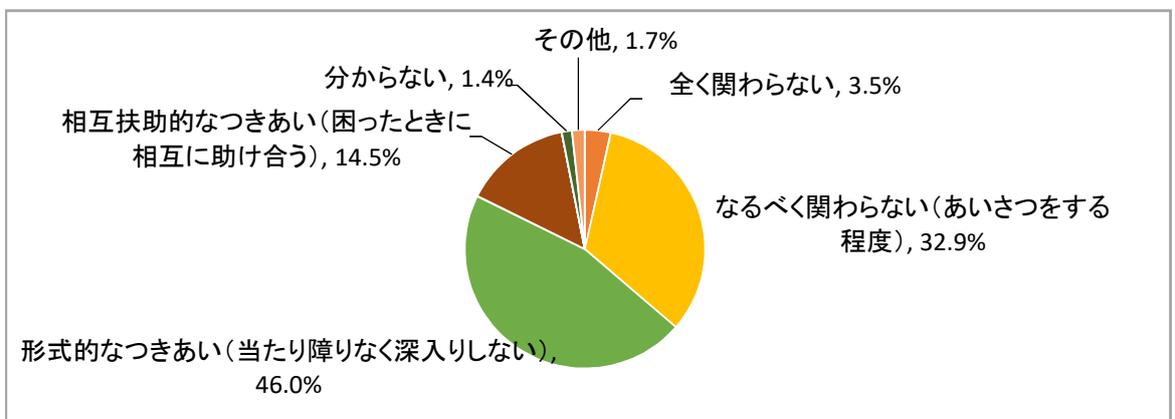
〔問8〕 あなたは、近隣の人との関わり方として、どのような形が好ましいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全く関わらない	2	0.7%
なるべく関わらない(あいさつをする程度)	47	16.3%
形式的なつきあい(当たり障りなく深入りしない)	109	37.7%
相互扶助的なつきあい(困ったときに相互に助け合う)	118	40.8%
親密なつきあい(家族同様に関わる)	2	0.7%
分からない	9	3.1%
その他	2	0.7%
計	289	100.0%



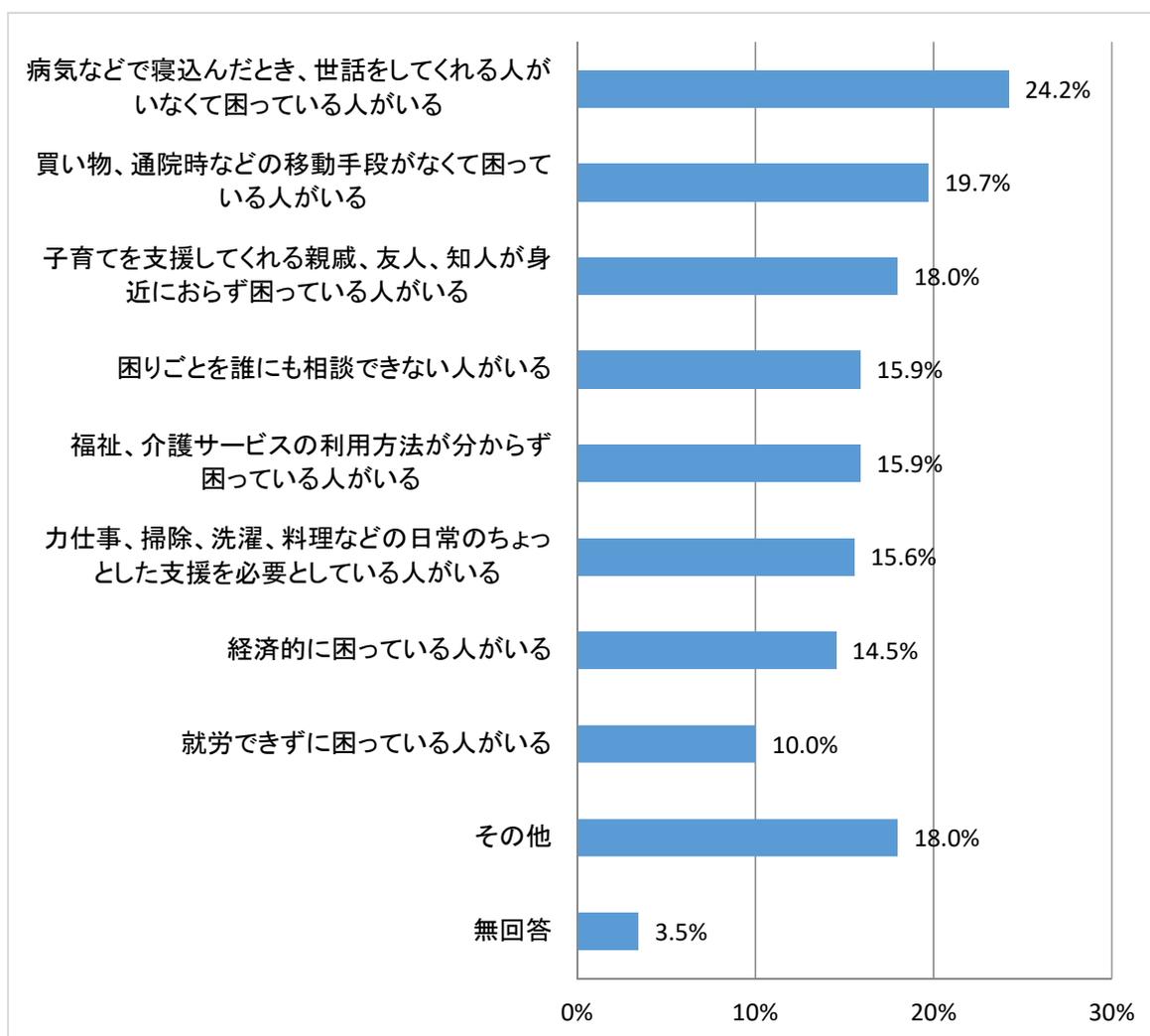
〔問9〕 あなたは、近隣の人との関わり方について、実際の関わり方としては、どうなっていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全く関わらない	10	3.5%
なるべく関わらない(あいさつをする程度)	95	32.9%
形式的なつきあい(当たり障りなく深入りしない)	133	46.0%
相互扶助的なつきあい(困ったときに相互に助け合う)	42	14.5%
親密なつきあい(家族同様に関わる)	0	0.0%
分からない	4	1.4%
その他	5	1.7%
計	289	100.0%



〔問10〕 あなたのまわりで、生活上の困りごとを抱えている方はいますか。また、そのような話を聞いたことがありますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 289	
	回答者数	構成比
病気などで寝込んだとき、世話をしてくれる人がいなくて困っている人がいる	70	24.2%
買い物、通院時などの移動手段がなくて困っている人がいる	57	19.7%
子育てを支援してくれる親戚、友人、知人が身近におらず困っている人がいる	52	18.0%
困りごとを誰にも相談できない人がいる	46	15.9%
福祉、介護サービスの利用方法が分からず困っている人がいる	46	15.9%
力仕事、掃除、洗濯、料理などの日常のちょっとした支援を必要としている人がいる	45	15.6%
経済的に困っている人がいる	42	14.5%
就労できずに困っている人がいる	29	10.0%
その他	52	18.0%
無回答	10	3.5%



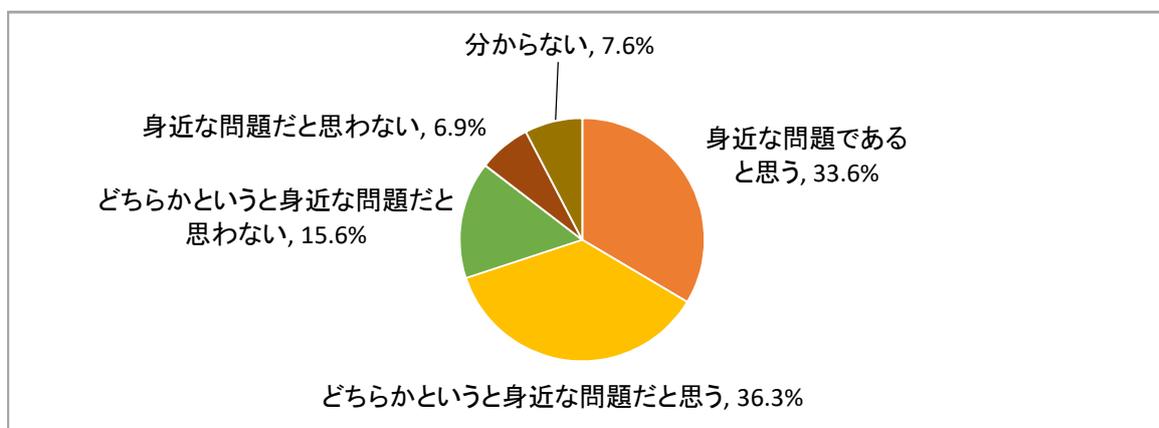
〔問11〕 あなたのまわりで、「ダブルケア※1」や「8050問題※2」「ヤングケアラー※3」などの問題が身近な問題だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※1「ダブルケア」とは、1人の人や1つの世帯が同時に介護と育児の両方に直面すること

※2「8050問題」とは、80歳代の親と50歳代の子どもの組み合わせによる生活問題（例えば、80歳代の親がひきこもりの50歳代の子どもの生活を支えるという問題）

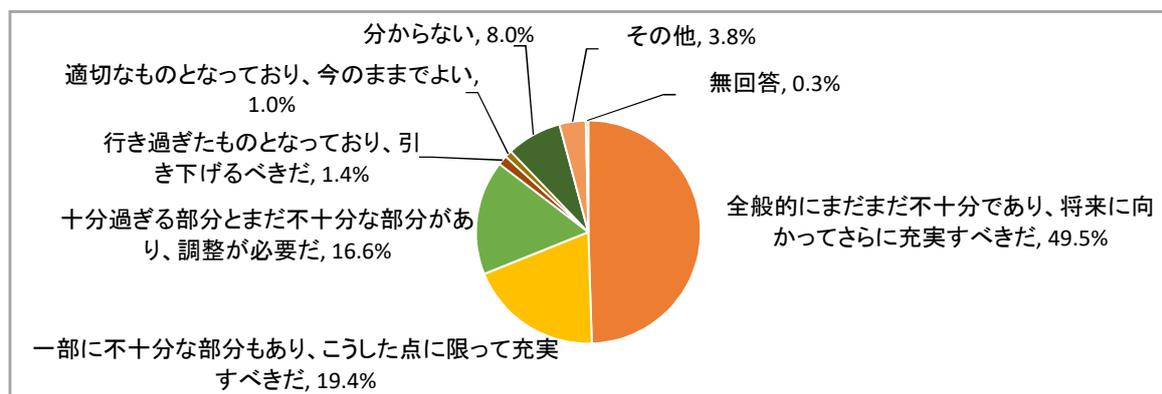
※3「ヤングケアラー」とは、年齢に見合った手伝いの範囲を超え、家事や家族の世話などのケアを日常的に行っている18歳未満の者のこと

選択肢	回答者数	構成比
身近な問題であると思う	97	33.6%
どちらかというとな身近な問題だと思う	105	36.3%
どちらかというとな身近な問題だと思わない	45	15.6%
身近な問題だと思わない	20	6.9%
分からない	22	7.6%
計	289	100.0%



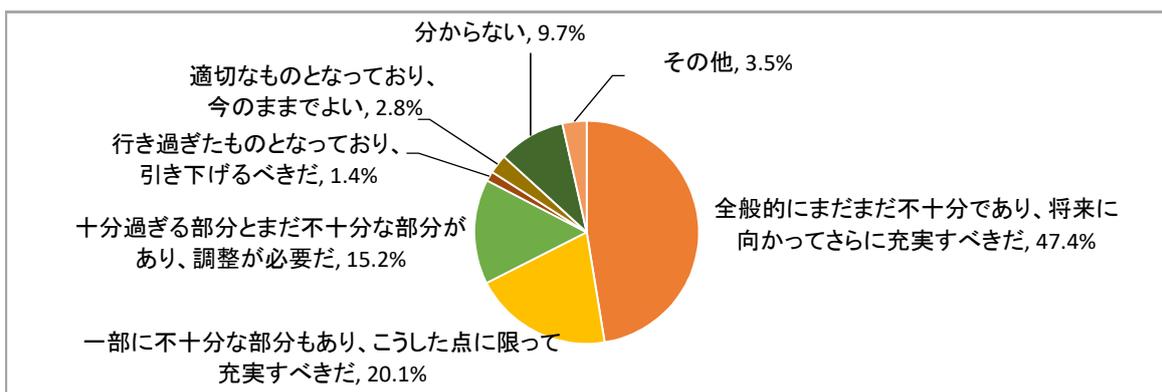
〔問12〕 近年、高齢者介護・障害者福祉・子育て支援・生活困窮など様々な分野にまたがる複雑・複数の課題を抱えている方や、既存の制度の対象になりにくい方への対応が課題となっています。そういった方々への相談対応や社会参加支援などの対応についてどう感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全般的にまだまだ不十分であり、将来に向かってさらに充実すべきだ	143	49.5%
一部に不十分な部分もあり、こうした点に限って充実すべきだ	56	19.4%
十分過ぎる部分とまだ不十分な部分があり、調整が必要だ	48	16.6%
行き過ぎたものとなっており、引き下げるべきだ	4	1.4%
適切なものとなっており、今のままでよい	3	1.0%
分からない	23	8.0%
その他	11	3.8%
無回答	1	0.3%
計	289	100.0%



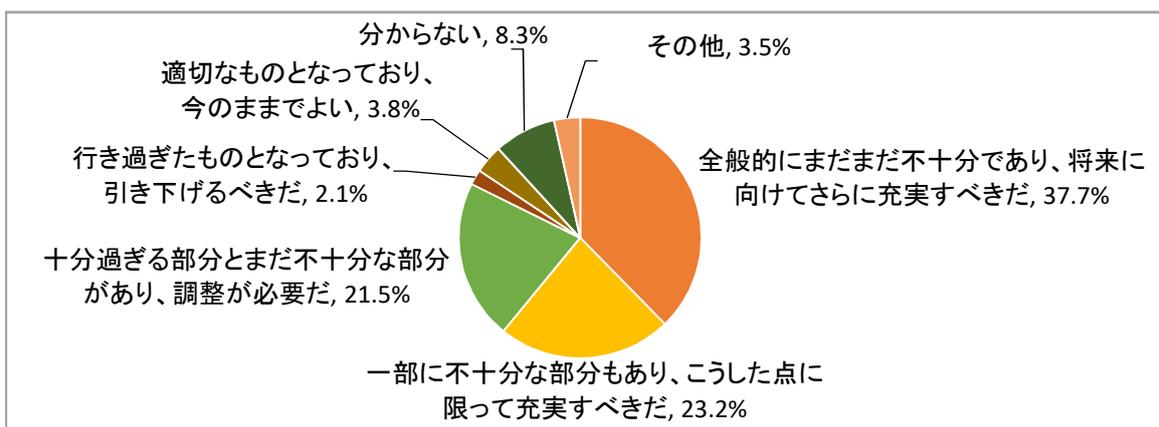
〔問13〕 高齢者介護・障害者福祉・子育て支援・生活困窮など様々な分野にまたがる複雑・複数の課題を抱えているにもかかわらず、自ら支援を求めることのできない人や支援を受けることに対して無関心または否定的（支援を受けることは恥ずかしい、面倒くさいなど）な方に対する支援についてどう感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全般的にまだまだ不十分であり、将来に向かってさらに充実すべきだ	137	47.4%
一部に不十分な部分もあり、こうした点に限って充実すべきだ	58	20.1%
十分過ぎる部分とまだ不十分な部分があり、調整が必要だ	44	15.2%
行き過ぎたものとなっており、引き下げるべきだ	4	1.4%
適切なものとなっており、今のままでよい	8	2.8%
分からない	28	9.7%
その他	10	3.5%
計	289	100.0%



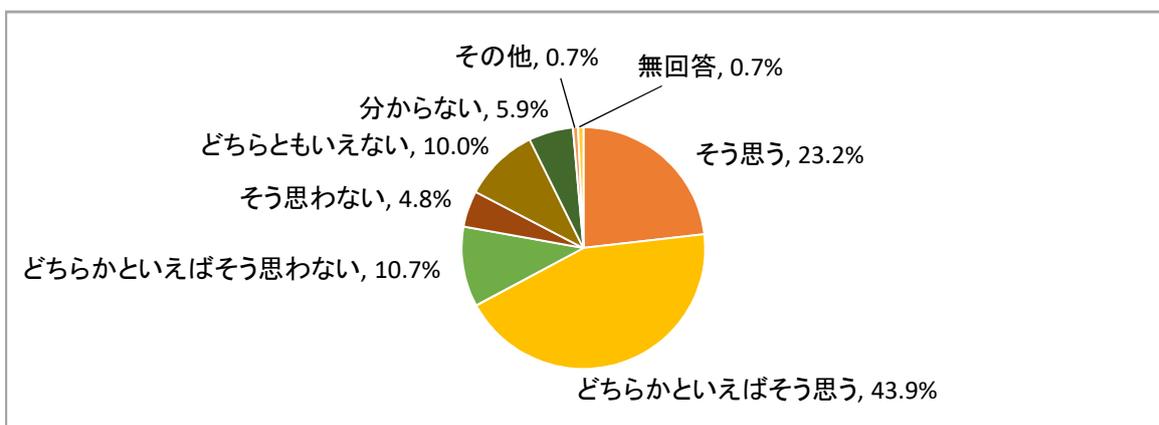
〔問14〕 あなたは、現在の高齢者、障害者や子育て、生活困窮などに対して行政が行うサービス（公的福祉サービス）の水準についてどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全般的にまだまだ不十分であり、将来に向けてさらに充実すべきだ	109	37.7%
一部に不十分な部分もあり、こうした点に限って充実すべきだ	67	23.2%
十分過ぎる部分とまだ不十分な部分があり、調整が必要だ	62	21.5%
行き過ぎたものとなっており、引き下げるべきだ	6	2.1%
適切なものとなっており、今のままでよい	11	3.8%
分からない	24	8.3%
その他	10	3.5%
計	289	100.0%



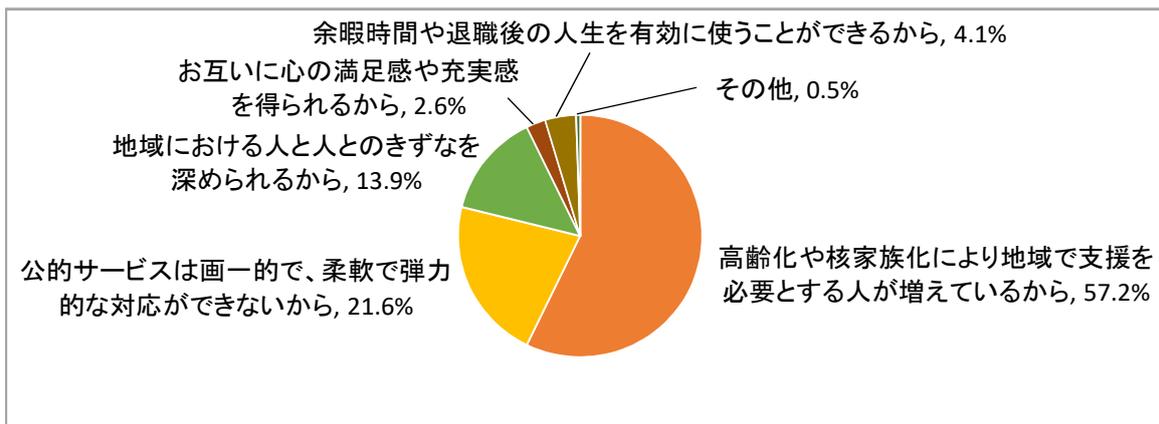
〔問15〕 地域における多様な福祉ニーズにきめ細かく対応していくためには、住民参加による福祉活動を推進することが必要であるとの考え方がありますが、あなたは、どう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
そう思う	67	23.2%
どちらかといえばそう思う	127	43.9%
どちらかといえばそう思わない	31	10.7%
そう思わない	14	4.8%
どちらともいえない	29	10.0%
分からない	17	5.9%
その他	2	0.7%
無回答	2	0.7%
計	289	100.0%



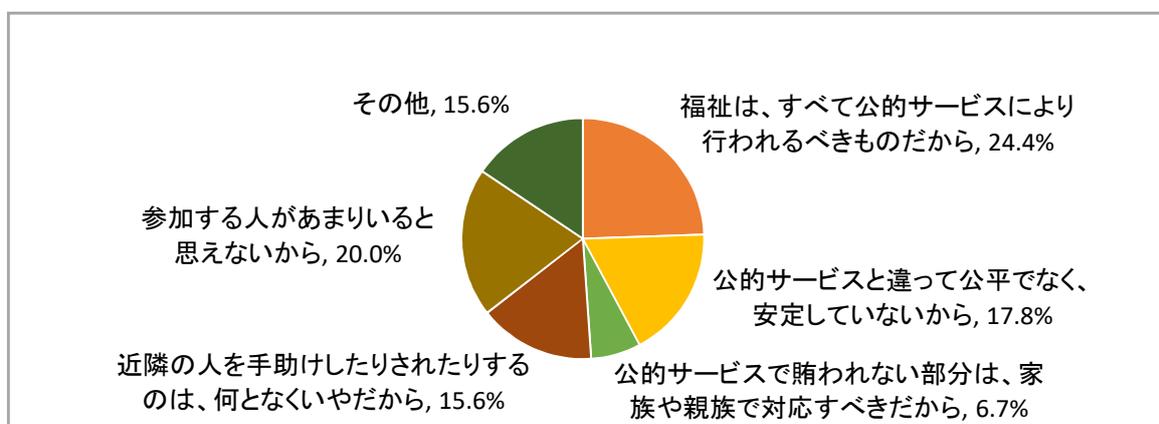
〔問16〕 問15で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方にお伺いします。
それは、なぜですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
高齢化や核家族化により地域で支援を必要とする人が増えているから	111	57.2%
公的サービスは画一的で、柔軟で弾力的な対応ができないから	42	21.6%
地域における人と人とのきずなを深められるから	27	13.9%
お互いに心の満足感や充実感を得られるから	5	2.6%
余暇時間や退職後の人生を有効に使うことができるから	8	4.1%
その他	1	0.5%
計	194	100.0%



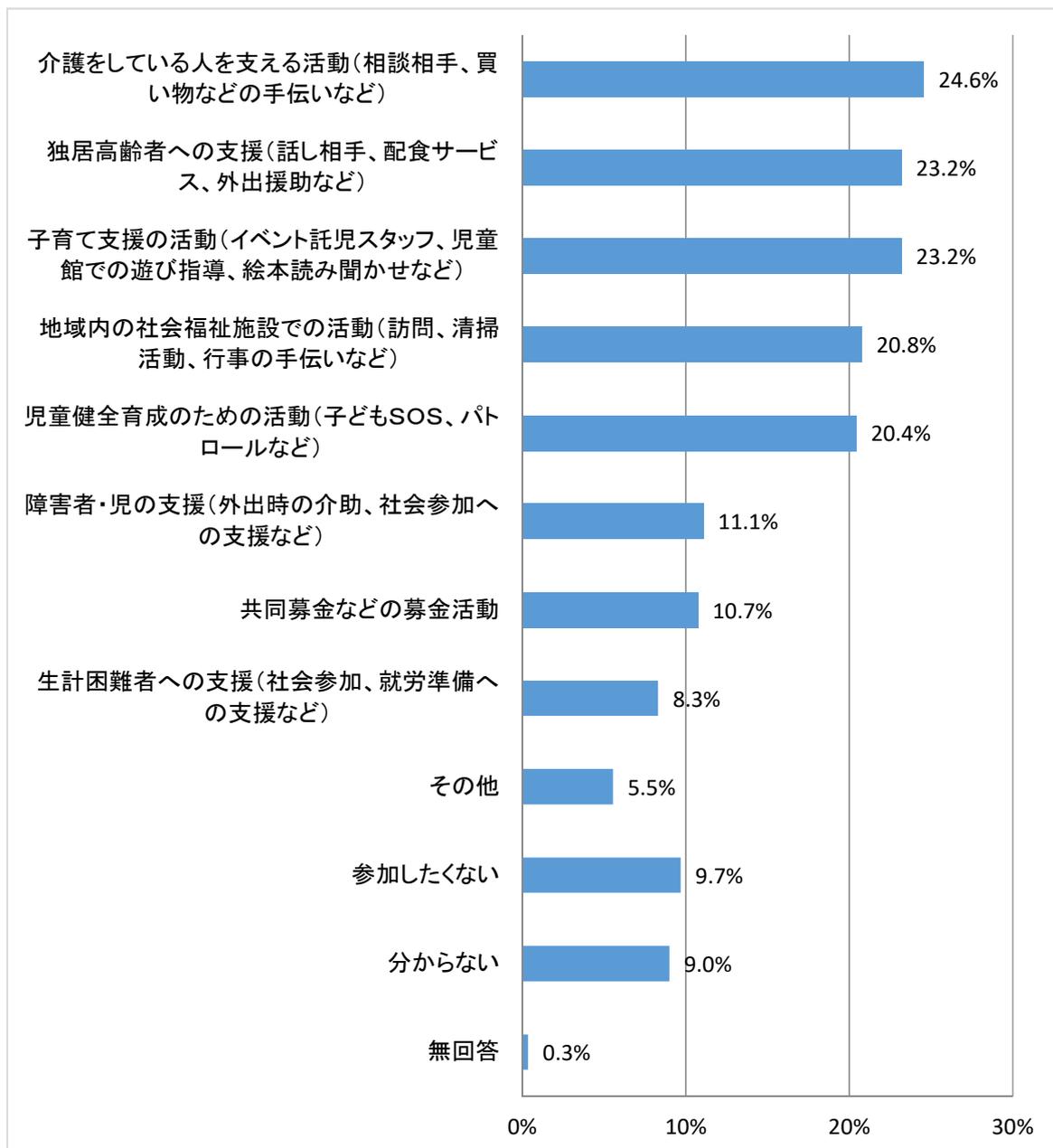
〔問17〕 問15で「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と答えた方にお伺いします。
それは、なぜですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
福祉は、すべて公的サービスにより行われるべきものだから	11	24.4%
公的サービスと違って公平でなく、安定していないから	8	17.8%
公的サービスで賄われない部分は、家族や親族で対応すべきだから	3	6.7%
近隣の人を手助けしたりされたりするのは、何となくいやだから	7	15.6%
参加する人があまりいると思えないから	9	20.0%
その他	7	15.6%
計	45	100.0%



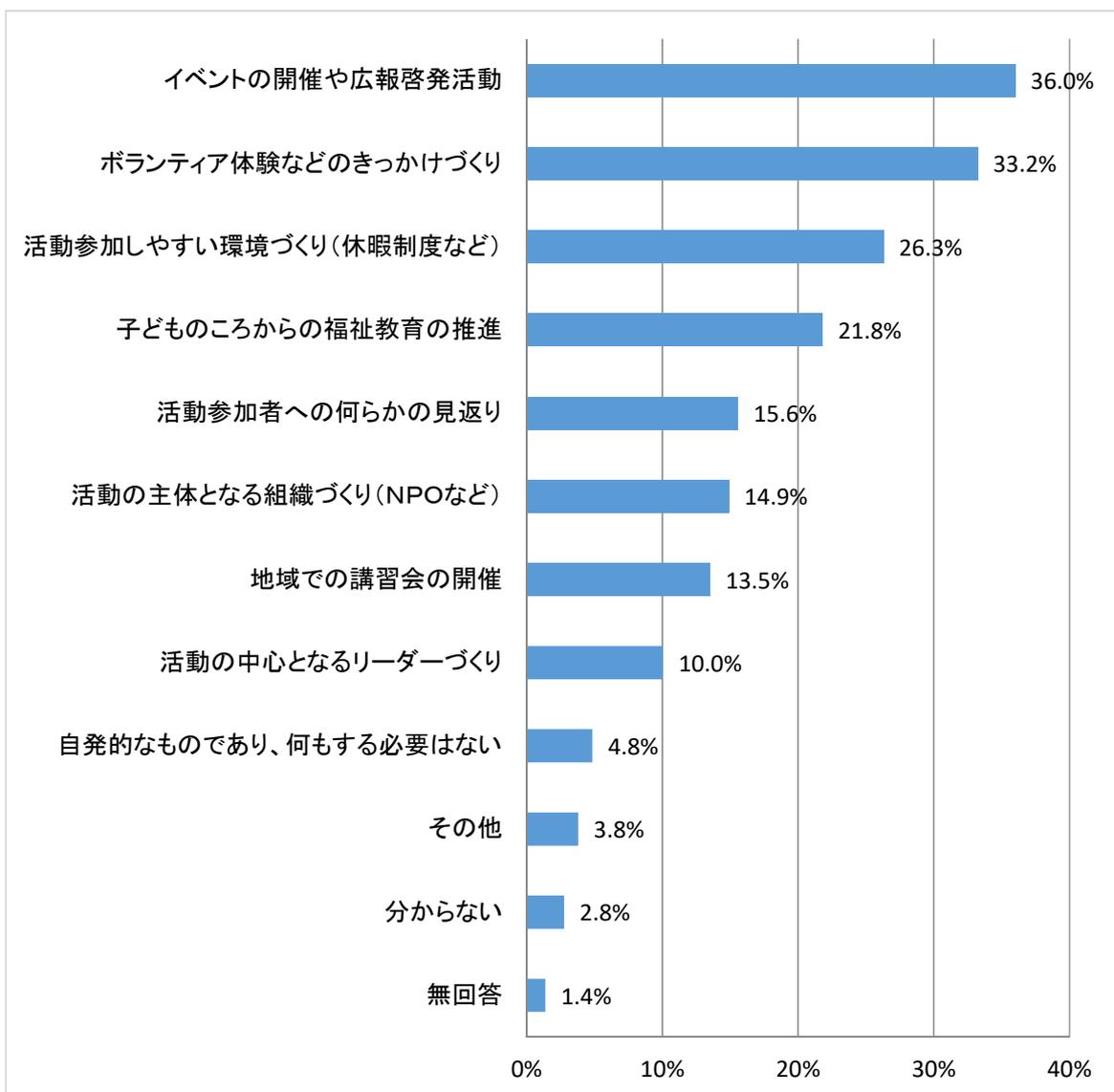
〔問18〕 あなたは、お住まいの地域で行われる福祉活動のうち、どのような活動であれば、参加してみたいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 289	
	回答者数	構成比
介護をしている人を支える活動(相談相手、買い物などの手伝いなど)	71	24.6%
独居高齢者への支援(話し相手、配食サービス、外出援助など)	67	23.2%
子育て支援の活動(イベント託児スタッフ、児童館での遊び指導、絵本読み聞かせなど)	67	23.2%
地域内の社会福祉施設での活動(訪問、清掃活動、行事の手伝いなど)	60	20.8%
児童健全育成のための活動(子どもSOS、パトロールなど)	59	20.4%
障害者・児の支援(外出時の介助、社会参加への支援など)	32	11.1%
共同募金などの募金活動	31	10.7%
生計困難者への支援(社会参加、就労準備への支援など)	24	8.3%
その他	16	5.5%
参加したくない	28	9.7%
分からない	26	9.0%
無回答	1	0.3%



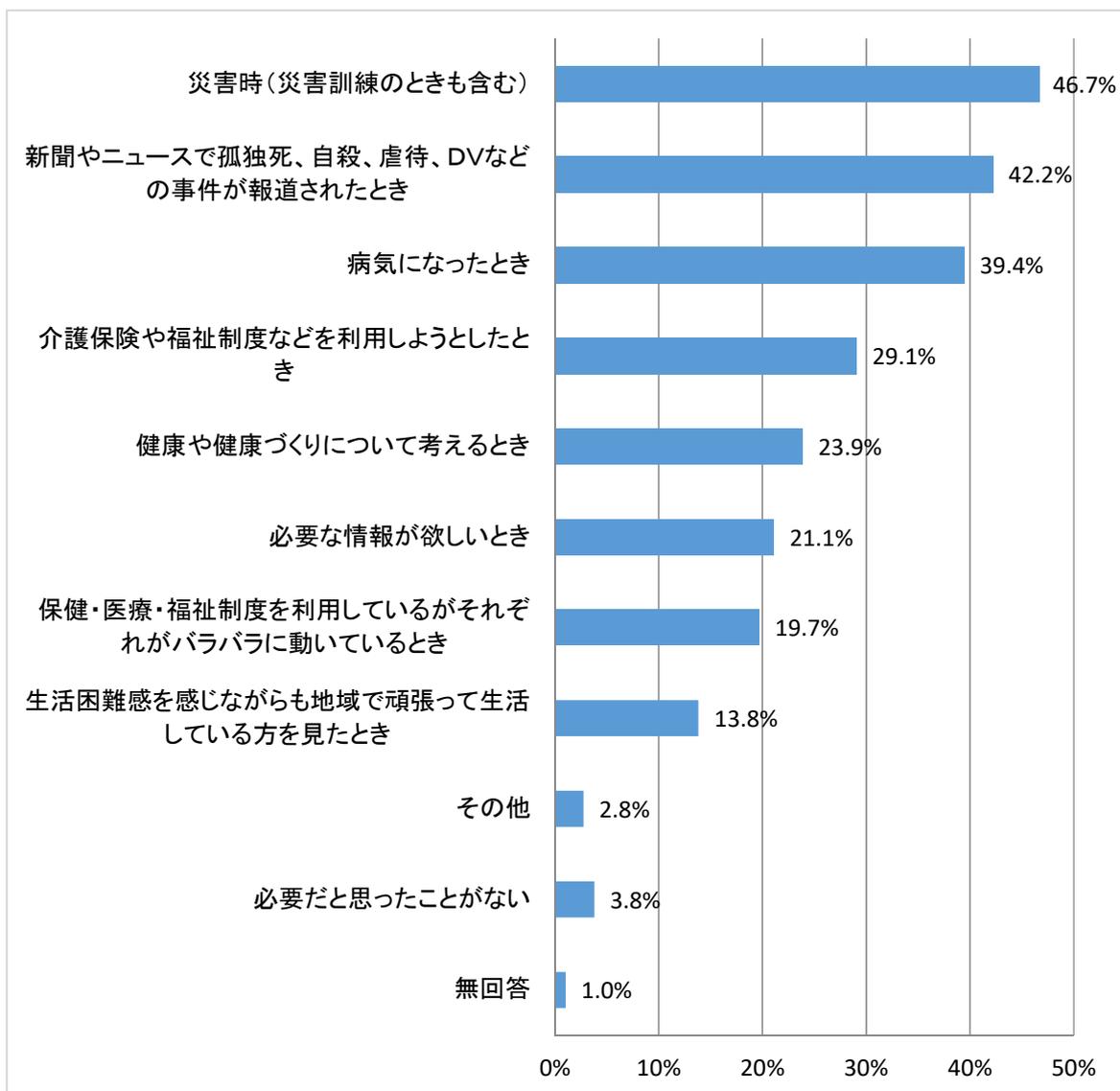
〔問19〕 今後、地域での福祉活動を盛んにするためには、どのようなことが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 289	
	回答者数	構成比
イベントの開催や広報啓発活動	104	36.0%
ボランティア体験などのきっかけづくり	96	33.2%
活動参加しやすい環境づくり(休暇制度など)	76	26.3%
子どもころからの福祉教育の推進	63	21.8%
活動参加者への何らかの見返り	45	15.6%
活動の主体となる組織づくり(NPOなど)	43	14.9%
地域での講習会の開催	39	13.5%
活動の中心となるリーダーづくり	29	10.0%
自発的なものであり、何もする必要はない	14	4.8%
その他	11	3.8%
分からない	8	2.8%
無回答	4	1.4%



〔問20〕 住みよいまちづくりを推進するため、保健・医療・福祉などの連携が必要だといわれています。あなたは、今までに、どのようなときにそう思いましたか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 289	
	回答者数	構成比
災害時(災害訓練のときも含む)	135	46.7%
新聞やニュースで孤独死、自殺、虐待、DVなどの事件が報道されたとき	122	42.2%
病気になったとき	114	39.4%
介護保険や福祉制度などを利用しようとしたとき	84	29.1%
健康や健康づくりについて考えるとき	69	23.9%
必要な情報が欲しいとき	61	21.1%
保健・医療・福祉制度を利用しているがそれぞれがバラバラに動いているとき	57	19.7%
生活困難感を感じながらも地域で頑張っている方を見たとき	40	13.8%
その他	8	2.8%
必要だと思ったことがない	11	3.8%
無回答	3	1.0%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。